令和８年（2026 年）10 月 30 日

保護者各位

札幌市立資生館小学校
校長　山田　健

# 全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より、本校の教育活動に対しまして、御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、４月 23 日に実施しました全国学力・学習状況調査（調査対象：６年生）について、本校児童の調査結果の概要及び改善の方向がまとまりましたのでお知らせします。今後、本校児童の課題や改善の方向を基に、御家庭と連携を図りながら指導を充実して参ります。御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

## 国　語

| 本校の概要 | 本校の課題 | 改善の方向 |
|---|---|---|
| **【内容】**<br>**「言葉の特徴や使い方に関する事項」**<br>◆全国平均を下回っている。 | ➢学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 | ➢漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中での正しい使い方を習得できるようにする。 |
| **「情報の扱い方に関する事項」**<br>◆全国平均を下回っている。 | ➢情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句　との関係の表し方を理解し使うこと。 | ➢目的や意図を明確にし、複数の叙述や語句の関係(似ているところ、理由と結果など)を図に示すなど、目に見えるように整理することを通して、考えをまとめられるようにする。 |
| **「話すこと・聞くこと」**<br>◆全国平均を下回っている。 | ➢相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。 | ➢具体的な相手や目的を意識して、自分が伝えたいことの中心がはっきりするよう理由や事例などを挙げ、筋道立てた構成を考えることができるようにする。 |
| **「書くこと」**<br>◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 | ➢引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 | ➢引用する目的を明確にし、原文を正確に引用したり、引用した部分と自分の考えとを区別しながら書き表したりする学習活動の充実。 |
| **「読むこと」**<br>◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 | ➢目的に応じて、必要な情報を見付けること。 | ➢読む目的を明確にし、筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を取捨選択・整理しながら考える学習活動の充実。 |

※算数の調査結果の概要及び改善の方向につきましては、裏面をご覧ください。

# 算　数

| 本校の概要 | 本校の課題 | 改善の方向 |
| --- | --- | --- |
| **【内容】**<br>**「数と計算」**<br>◆全国平均を下回っている。 | ➢数を四捨五入して、概数で表すこと。 | ➢概数の意味を理解し，数を手際よく捉えたり処理したりすることができるようにするとともに，目的に応じて概数を用いることができるようにする学習活動の充実。 |
| | ➢異分母分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述することや、単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えること。<br>例）7/3 と 7/4 のどちらが大きいかを判断し、その理由を書く。 | ➢同分子分数であれば「分母が小さい方が分数は大きい」ということを、図や数直線を手がかりに具体的・視覚的に捉える学習活動の充実。その際、分数は単位分数（分子が1の分数）をもととし、「単位分数のいくつ分」で構成されるという見方を大切にする。 |
| **「図形」**<br>◆全国平均を下回っている。 | ➢立方体の体積の計算による求め方について理解すること。<br>例）一辺が8㎝の立方体の体積を求める式を書く。 | ➢図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積が「縦・横・高さ」の長さを使って計算で求められることを理解できるようにする。 |
| **「測定」**<br>◆全国平均を下回っている。 | ➢示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること。<br>例）昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く。 | ➢問題に示されたいくつかの情報が、「全体の量」「部分の量」どちらに関係しているのかを適切に読み取れるよう、テープ図や線分図に数値と言葉を対応させながら整理することで、条件に合う数量を求めることができるようにする。 |
| **「変化と関係」**<br>◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回る。 | ➢百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。<br>例）イシガメ 14 匹が動物園全体のカメの数の 20%に当たるときの、動物園全体のカメの数を求める式と答えを書く。 | ➢問題場面から、「基準量(もとにする量）」、「比較量（比べられる量）」、「割合」の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。その際、何が基準量で、何が比較量にあたるのかを、数直線に数量を位置付けることで的確に把握し、答えを求めるための式を導き出すことができるようにする。 |
| **「データの活用」**<br>◆全国平均を下回っている。 | ➢二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。<br>例）昔遊びの参加人数を整理した二次元の表から、前半に「あやとり」に参加する人数と、前半は「かるた」に参加し、後半は「あやとり」に参加する人数を書く。 | ➢条件ごとの数を正しく数え、縦列・横列の合計を確認しながら表を読みとることができるようにする学習活動の充実。そのために、子どもが目的に応じてデータを分類、整理する際，落ちや重なりがないように「正」の字を書いたり，合計欄で総数を確かめたりしながら、二次元の表の特徴や良さを理解できるようにする。 |

# 児童質問紙による学習状況調査

「全国学力・学習状況調査」と同時に実施した「児童質問紙による学習状況調査」では、学習や生活、地域に対する意識、生き方などについて７３項目にわたる調査を行いました。以下の項目は、全国の６学年児童と比較した状況の中で特に顕著な傾向がみられた項目を抜粋して掲載しています。

| | 質問項目 | 本校６学年児童の結果 |
|---|---|---|
| ① | 将来の夢や目標をもっていますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より＋5.5pt |
| | 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より＋2.5pt |
| ② | あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より＋5.1pt |
| | あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より＋11.1pt |
| ③ | 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より＋3.2pt |
| | 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より＋3.9pt |
| | 自分には、よいところがあると思いますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より－3.2pt |
| | 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より－6.5pt |
| ④ | 朝食を毎日食べていますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より－14.8pt |
| | 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 | 当てはまると答えた割合が、全国平均より－11.4pt |
| | 普段（月～金）、１日当たりどれくらいの時間スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか。（学習する時間やゲームをする時間は除く） | 「１日に３時間以上SNSや動画視聴をする」と答えた割合が、全国平均より＋14.8pt |

**【質問紙調査の結果から】**

① 本校の子どもたちの回答結果からは、将来の夢や目標に対する前向きな姿勢や、地域・社会への貢献に対する意識の高さがうかがえます。本校では、生活科や総合的な学習の時間を中心に、狸小路をはじめとする様々な商業施設や公共施設に赴き、探検や調査活動、職業体験といった地域体験の活動を進めています。魅力ある地域に支えられた本校ならではの学びの良さを生かし、夢や憧れに向かって自身を高め、その力を地域や社会のために役立てたいという子どもたちの思いを、今後も一層大切にしてまいります。

② PCやタブレットなどのICT機器の使い方に関する質問では、どの項目も肯定的な回答の割合が全国平均を上回りました。特に、「情報を整理できる」「プレゼンテーション（発表スライド）を作成できる」の項目では全国平均を大きく上回り、子どもたちがICTの特性や強みを理解し、目的意識を持って活用できている様子がうかがえます。高学年になると、様々な教科の学習や児童委員会、ドリプロなどの自治的な活動の中で、ICT機器をさらに活用していきます。学年の発達段階に応じた系統的な指導を重ねながら、今後も子ども一人ひとりの情報活用能力の育成に努めてまいります。

③ 本校の子どもたちは、友達の考えを大切にしながら協力し合い、その良さを認め合えるエネルギーに満ちています。一方で、「自分に自信がもてない」「周囲と意見が違うことに不安を感じる」といった側面も見られ、「自分にはよいところがある」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」への肯定的な回答は、全国平均を下回る結果となりました。今後は、対話を通じた学び合いをさらに充実させ、一人ひとりが安心して自分の考えを表現できる場を増やしてまいります。子どもたちが自分の強みや良さを実感し、自分を大切に思う気持ちを高められるよう、日々の指導に努めてまいります。

④ 生活習慣に関する質問では、「朝食」や「睡眠」に関する肯定的な回答が全国平均を下回る傾向が見られました。あわせて、スマートフォンや携帯電話等に費やす時間が全国平均よりも多いという実態も気にかかるところです。子どもたちが心身ともに健やかに成長し、自分の生活を自分でマネジメントする力を付けていけるよう、学校でも生活習慣の大切さについての指導を重ねてまいります。保護者の皆様におかれましても、日々の生活リズムについて、お子さんへの温かい御声掛けや見守りを引き続きどうぞよろしくお願いいたします。